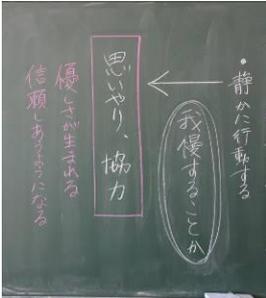


「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

<p>中学校 2019年版 教科・領域名 道徳</p>	<p>単元名 ともに育つ 時間 50分</p>	<p>ともに育つ P10～11</p>
<p>主な学習活動（実際に行った活動）</p>	<p>指導の実際</p>	
<p>【ねらい】内容項目B-(6)思いやり，感謝 多くの人々の善意により日々の生活があることに気づき，思いやりの心をもって人と接するとともに，善意に感謝する気持ちを育てる。</p> <p>1 P10を読み，六郷中の生徒と東六郷小の児童がお互いの行事に参加し合っていることを知る。 ・仙台市「津波避難エリアマップ」を見て，東六郷小が被災したことを知る。 ・六郷中と東六郷小が近いことを地図で確認する。</p> <p>2 共に行事に参加し合う中学生と小学生の思いを考える。</p> <p>3 同じ校舎で小学生と過ごすことになったら，どんなことを配慮し行動するか考える。 ・優しく接する ・小学生を優先してあげる ・自分から進んで遊びに誘う ・勉強を教える</p> <p>4 人と人がともに生活する時，どんな思いを大切にしなければいけないか。 ・協力 ・思いやり ・励まし合う気持ち ・助け合う気持ち ・「お互いがお互いのために」と思う気持ち</p>  <p>5 P11「4・思いとともに」と，近野兼史さんの「ともに豊かに育つ子供たちへ」の文章を読む。</p> <p>6 今日の授業を振り返り，感想を書く。</p>	<p>【準備物】防災副読本，ワークシート，仙台市「津波避難エリアマップ」</p>  <p>○八乙女中学校と南光台小学校が同じ校舎で過ごした時の実践例を紹介。 ・授業時間が違うためノーチャイムを実施 ・昼休みの校庭使用区割り(安全確保)等 ※当時の様子を想像させ，更に具体的に考えさせる。</p> <p>○「小学生を優先する」「中学生は我慢する」という生徒の発言から，ねらいに迫る。</p> <p>●生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちをもつと優しさが生まれ信頼し合ったり絆を深めたりすることにつながることを学ぶことができた。 ・みんなが思いやりの気持ちを持って生活すれば，たくさんのことができると思った。 ・思いやりの心が生まれると，みんなが良い気持ちになることが分かった。 ・お互いを思いやること，交流し合うことは大切だと思った。 ・自然に他の人を思いやれる人になりたい。 	

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」